

宇都宮市立宝木小学校

学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・主体的・対話的で深い学び に向けた授業改善	・対話や協働的な学習を取り入れた授業実践に努め、児童が積極的に自分の考えを伝え合い、ともに学び合える学級集団の育成を目指す。導入や発問、ICTを活用するなど学習活動を工夫し、多様な方法での学び合いを実践していく。	・「自分の考えを、根拠をあげながら話すことができるか」の設問の肯定的割合は市の平均と同等か少し下回っている。また、「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加しているか」の肯定的割合も市と同等か少し下回っており、学年が進むにつれて割合が下がる傾向が見られる。
・家庭学習の習慣化・継続化 への手立てや取り組み方の 提示	・学習がんばり週間を年2回設定し、家庭と連携して家庭学習の習慣化を目指す。また、「陽西地域学校園学習の手引き」や「家庭学習の進め方」を活用して、家庭学習の質の向上に努める。	・平日の家庭学習の時間は市と同等であるが、土日の家庭学習を「ほとんどしない」と回答する割合が市の平均を上回っている。また、「新しく習ったことは、何度もくり返して練習している」「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる」の設問の肯定的割合は市を下回っている。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

- ・「自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる」と肯定的に回答した児童の割合が市の平均を下回っている。対話を取り入れた学びについて、授業改善が進んでいるが、教師自身が児童同士の対話を結び付けたり深め合わせたりするコーディネート力をさらに向上させる必要がある。また、授業の中で、根拠や理由を問い返す発問を行ったり、ペアやグループでの学習や一人一台端末を活用した意見交流を積極に取り入れたりするなど、対話的な授業の改善を継続していきたい。
- ・対話的な学習の基本となる人との人との関わり方や学びに向かう態度を身に付けさせるとともに、落ち着いた学校生活を送るうえで基盤となる自己肯定感を育み、教師や友達と共に学ぶ楽しさを味わわせるように努める。
- ・家庭学習の習慣化は継続的に取り組むことと家庭の協力が必要である。家庭学習の習慣化を図るだけでなく、どのような学習が効果的か、学習内容についても家庭に啓発しながら継続的に指導を続けていきたい。